

新 消防長・消防団長 ご紹介



発行所
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
編集者 事務局長
一部50円

平成26年度全国統一防火標語
もういいかい
火を消すまでは
まあだだよ



松山市消防団長

井戸善昭



本年四月一日をもって、松山市消防団長に就任いたしました。近い将来発生が危惧されます南海トラフ巨大地震では県内でも甚大な被害が想定されており、地域防災の中核を担う我々消防団の果たすべき役割は非常に大きなものがあると考えております。今後においても、常備消防と一体となり、更なる活動強化を進め、安全で安心して一人でも多くの人が笑顔で暮らせるまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宇和島市消防団長

山下忠文



常備消防をはじめとする関係機関との連携を密にし、今後ますます複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対処できるよう知識と技術の習得に努め、地域防災力の強化に尽力していきたく思っております。

新居浜市消防団長

高橋眞次



この度、四月一日付けをもちまして新居浜市消防団長に就任いたしました。今日の消防を取り巻く客観情勢は大きく変化するなか、地域防災力の向上はもとより、地域住民の安心安全を守るため、これからも精進致して参ります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西条市消防団長

三村康行



この度、四月一日付けをもちまして西条市消防団長を拝命いたしました三村康行です。消防団長を拝命し、責務の大きさに身の引き締まる思いです。「火災や自然災害から住民の生命・財産を守る」が消防団に与えられた使命であると考え、「安心安全なまちづくり」を目指し、地域防災の要として市民に信頼される消防団づくりを進めていきたいと思います。

東温市消防団長

森光夫



四月一日付けで東温市消防団長に就任いたしました。近年、消防団は災害現場活動から復旧、復興まで地域の防災力において重要な役割を担っています。「自分たちの町は、自分たちで守る」という強い郷土愛護のもと「安全安心な町づくり」を推進して参りたいと考えております。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

内子町消防団長

高橋賢次



平成二十六年四月一日付けで内子町消防団長に就任致しました。消防防災を取りまく環境が多様化し、厳しさを増す中、地域の防災力を高めるため常設消防との連携を密に自主防災組織とも連携を取り、相互のコミュニケーションを図りながら予防消防を始めとする消防団活動や訓練に努め、町民の皆様から信頼される消防団として自覚と誇りを持って「安全安心の街づくり」の一翼を担っていく所存です。ご関係機関の皆様方のご指導・鞭撻のほどよろしくお願い致します。

松山市消防局長

芳野浩三



この度、松山市消防局長を拝命しました芳野浩三です。南海トラフ巨大地震が県民の大きな不安となる中、愛媛県が公表した調査報告でも火災や津波による大きな被害が想定されています。今後、私達消防に課せられた使命は、今以上に個々の消防職・団員の活動能力を高めながらさらに強固な消防組織に進化することであると考えていますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今治市消防本部消防長

笠原尚武



この度、四月一日付けをもちまして消防長に就任いたしました。市民の安心安全を守るため、消防団の皆様との連携強化を図りながら、消防防災力の強化を目指し、職員一同専心精励して参る所存でございますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

四国中央市消防長

野村泰一



この度、四月一日付けをもちまして四国中央市消防長を拝命いたしました野村泰一です。去る十二月末には愛媛県地震被害想定調査結果の最終報告がなされ、改めて防災減災の大切さを痛感しております。市民の安心・安全の盤石を図るため奉職邁進していく所存でありますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大洲地区広域消防事務組合消防長

大野博史



四月一日付けをもちまして大洲地区広域消防事務組合消防長を拝命いたしました大野博史です。地域防災力向上のため、消防団・自主防災組織との連携をさらに強化し、住民の皆様が安全・安心に過ごせる町づくりを目指し、職員一同専心精励いたす所存でございます。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

シバウラ
空冷業界唯一
空冷式消防ポンプ

B-2級34kW
TF745MH
B-3級32kW
TF640MH

水冷初
ラジエター搭載
水冷Fi式消防ポンプ

操法で活躍!!

B-2級46kW
SF756ZXi
B-3級43kW
SF656ZXi

SHIBAURA
楽々操作が自慢の
「自動吸水タイプ」にFiを装備!

B-2級46kW **SF756AZi**
B-3級43kW **SF656AZi**
B-3級34kW **SF651AZi**

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有) 愛媛芝浦ポンプ商会
TEL 089-933-6355 FAX 089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

支部だより

松野町消防団

松野町消防団 団長

岡本 純一



松野町は南予地方南部、四万十川の支流である広見川の中流域に位置し、森林が全面積の八四%を占めている県内最小人口の自治体です。

「森の国」というキャッチフレーズで、交流人口の増加や都市と農村との交流促進を図る行政施策を続けています。最近では、滑床溪谷のキャニオンや、高知県との県境を跨いだサイクリングロードなど、環境を生かした観光事業を展開し、県内外から観光客が多数訪れています。

なお、当町のような山間地域では、風水害における土砂災害等で、道路が寸断され、自動車



夏期訓練会



赤バイ隊

昨年、四月に久万高原町消防団に入団し、一年が経ちました。私は、久万高原町役場に勤務しており、災害等に出動する消防団員を間近に見ておりました。そのため、私が消防団員として、災害現場で活動することが出るか、大変不安でした。入団に躊躇っていた時、先輩女性団員から「本部女性団員は、災害発生時には本部で後方支援のため、現場に行くことはないけれど、消防団の各種行事に参加している。」と聞き、入団することを決めました。

今年、四月に久万高原町消防団員としての知識向上に向けた取り組みや、近隣市町消防団との交流及び情報交換を行っていることを知りました。一年間の消防団活動を通じて、日頃からの予防啓発活動、特に高齢化が進む久万高原町においては、私たち女性消防団員が、女性の特性を活かした活動をするのが重要であることを認識しました。また、災害発生時にも、現場で活動する団員が安全に活動できるよう連絡調整を行うなど、女性にも出来る活動があります。

二日目は、消防庁危機管理センターにおいて、消防行政及び防災対策の講義の後、日消会館にて、課題研究討議、防災危機管理トレーニング(図上訓練)に続いて、岩手県消防協会会長大森忠雄(一関市消防団 団長)による消防団活動事例を聴講しました。

三日目は、消防団実務、災害情報学、火災防ぎよ、課題研究討議の後、東京消防庁第六消防方面救助機動部隊を訪問し、資機材の見学の後、災害現場を想定した救助訓練を実施して頂きました。

南海・南海トラフ地震で津波被害が想定される地域の参加者との会話の中で「避難タワーに避難されるまでの間の間の水・食料・トイレ等、まだまだ問題が山積している。」という話がありました。最終的には各個人が準備しておく必要があるというところであり、我々消防団も必要なのは自分たちで備蓄しておくべきだということでした。



http://www.ogawa-pump.co.jp OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。

多くの資器材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。コンパクトにまとめあげた CD-I

小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社 〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号 TEL:089-972-2392 FAX:089-972-2400 E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

女性消防団だより

消防団に入団して



久万高原町消防団 本部 団員 仲渡 尚美

平成二十六年一月十四日(火)十七日(金)の四日間、東京の日本消防会館で行われた消防団幹部特別研修に参加させて頂きました。

各都道府県代表の団長及び副団長の四十七名が一堂に会し、消防行政に関する最新の情報や消防団を取り巻く諸問題について学識経験者の意見を聞くとともに、図上訓練やグループによる課題研究を通じて、消防団幹部としての見識を高め、消防団運営に反映させることにより地域住民の安心安全の向上に資する目的で実施されました。

一日目は、開校式、日本消防協会の秋本敏文会長の講話、課題研究討議、意見交換会を行いました。

二日目は、消防庁危機管理センターにおいて、消防行政及び防災対策の講義の後、日消会館にて、課題研究討議、防災危機管理トレーニング(図上訓練)に続いて、岩手県消防協会会長大森忠雄(一関市消防団 団長)による消防団活動事例を聴講しました。

三日目は、消防団実務、災害情報学、火災防ぎよ、課題研究討議の後、東京消防庁第六消防方面救助機動部隊を訪問し、資機材の見学の後、災害現場を想定した救助訓練を実施して頂きました。

四日目は、惨事ストレス対策課題研究発表の後、閉校式が行われ、研修が終了しました。

課題研究テーマでは、「サラリーマン団員の増加に伴う効果的な活動方策」について討議しました。どの地域も約八割がサラリーマン団員であることにより、平日の日中における出動団員不足が一番危惧されるとのことでした。方策として、平日の昼・夜間における実働団員を把握する事、OB団員の協力支援体制(報酬、事故等の補償)、協力事業所の募集等の意見がありました。

各テーマの発表のなかで共通する課題の方策として、団員確保のための優遇制度が必要であるとの意見でした。また、この優遇制度の一例として、松山市の例が講師より発表されました。

課題研究発表及び総評を通して、「消防団員は、身の危険を感じた時は、自身の身を守る行動を起こすことが必要である。」「消防団幹部は、団員が活動しやすい環境づくりに精一杯汗を流してください。」の二点が印象に残りました。

今後発生が予測されている東

期待されています。消防団の主な活動については、二月の出初式を皮切りに毎年、春期・夏期訓練会、防火デー行事、年末特別警戒を実施するほか、火災予防運動期間中には広報活動や車両パレード等を行っています。

七月の夏期訓練では町内で八年振りとなる操法大会を実施し、更なる全体の士気、技術の向上を目指しました。防火デーでは、町内の消防水利等の点検を行い、それに基づき水利台帳の整理を行いました。

また、昨年十二月一日には、南海トラフ巨大地震を想定した大規模な避難訓練を吉野・蔵生・奥野川の三地区で実施しています。自主防災組織と連携して、無線を利用した情報伝達訓練や災害時要支援者などの安否確認、避難誘導等の実践的な訓練を行いました。

三月に南予一帯で起こった地震では、幸い当町での被害はなかったものの、被害の有無に関らず軽視をせず、災害そのものを重視し、自主防災組織等との連携を強化することで災害を多角的な視点から捉え、迅速且つ柔軟な対応のできる、住民が安心して暮らせる町づくりに取り組んでいきたいと考えています。

Advertisement for Ogawa Pump Co. Ltd. featuring fire trucks and pumps. Text: http://www.ogawa-pump.co.jp, OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛). Images of fire trucks and pumps.

Advertisement for Iwamoto Syokai Co. Ltd. featuring fire trucks and pumps. Text: (株)岩本商会, 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1, TEL 089 (947) 2111, FAX 089 (947) 2116. Images of fire trucks and pumps.

高松支店 / 宇和島営業所 / 姫原倉庫 http://www.iwamotosyokai.co.jp

Advertisement for Fire Department Officers Special Training. Text: 第40回 消防団幹部特別研修, 今治市消防団 副団長 白鞘 浩志. Image of a fire truck.

第13回

消防団幹部候補中央特別研修

第13回消防団幹部候補

中央特別研修に参加して



新居浜市消防団

金子中分団

団員 白石 明典

私はこの度、新居浜市消防より第十三回消防団幹部候補中央特別研修に参加要請を受け、平成二十六年二月五日〜七日までの三日間、東京都港区にあります日本消防協会へ行って参りました。このレポートはその研修内容を紹介しますとともに、今後の金子中分団の活動に生かしていく為の提案となれば幸いです。

① 開講式

研修には全国から実に百四十名の参加者がいました。ところ狭しといった感じ



② 講和
日本消防協会 秋本敏文会長からの講和をいただきました。会長は先の東日本大震災で消防団員が二百五十四名亡くなられた事に大変心を痛めておられました。それから国に働きかけ、消防団員装備の充実。消防団員の地位向上、手当・退職報奨金の引き上げなどに尽力していただき、平成二十五年十二月十三日及び平成二十六年二月七日に消防団に関する新しい法律が制定された事を紹介していただき、胸が熱くなりました。

③ グループ討議
① グループ討議
② 活動事例紹介 岩手県大槌町消防団 鈴木部長様
3・11での実際の行動履歴を紹介していただき、資料中の赤線の文章、「消防団員は災害現場で死んではいけない」という言葉が強く心に響いた。

④ 意見交換会
全国の仲間とお酒を飲みながらの語りでした。全国の仲間達と楽しく飲む事ができました。

① 総務省消防庁内 危機管理センター視察及び防災課長 講和
危機管理センターは、普段一般人が決して入れる場所ではないので、背筋が伸びる思いでした。

② グループ討議
③ 消防団運営 長野県消防協会 五十嵐先生は長野県上田市というところの消防団長をされ、その時に様々な新しい取り組みを実行され、機能別消防団という物を創設された。

④ 危機管理について
研修3日目
① グループ討議
② 活動事例紹介 岩手県大槌町消防団 鈴木部長様
3・11での実際の行動履歴を紹介していただき、資料中の赤線の文章、「消防団員は災害現場で死んではいけない」という言葉が強く心に響いた。

みがなされている。討議の中で取り入れたい案件は次の四件があった。

(1) サラリーマン消防団員は、会社に対して、消防団員である事の証明を申請し年間活動計画も併せて提出する事で、活動を理解してもらおう。

(2) 各地域での行事へ積極的に参加し、住民との交流を深める事で、消防団加入促進を図る。

(3) 消防団協力事業所に対して、税制面のメリットなど優遇措置を強化すべきである。

(4) 小学校・中学校の防災訓練に参加し、消防団にあらがれてもらう取り組みを進める。
・今回の研修最終日の二月七日に、法改正により消防団への装備の充実が施行され、その法改正に携わった秋本会長の講和をいただいた事が非常に嬉しかった。装備も使い方に

第13回消防団幹部候補

中央特別研修に参加して



久万高原町消防団
団員 高山 明典

三日間、日本消防協会において研修に参加させて頂き、ありがとうございました。研修が始まった時は、初対面の団員どうし、会話もなごころなかつた事を思い出します。開講式の後、「時代の変化に対応する消防団のあり方」

を知らなければ、猫に小判になりかねないが、まずはその装備で、自分達の身を守り、それから地域住民の安全を守る事こそが消防団に課せられた使命であると思う。様々な研修を受けさせていただいたが、心に残ったのは二点、秋本会長の熱い講和、あと全国の仲間との交流でした。

全国には約八十七万人の消防団員がいます。その一部の幹部候補生の方と知り合う事ができ、様々な意見交換ができた事が何よりもの財産です。これから異常気象や南海地震などの未曾有の災害が待ち受けていますが、我が金子中分団も、分団員から負傷者・死亡者を出すことなく、災害から住民を守る分団になっ

ていけるように日々訓練・コミュニケーションを図っていければと思います。

最後に、この研修に行かせていただきました誠にありがとうございました。ご

ポンプ操法最強コンビ!



トーハツ VCPROII

キンパイスーパーランナーホース

株式会社 ヤマダ 1910年創業
TOHATSU 小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置
NIKKI ニッキ 消防ポンプ自動車
テイセン テイセン救助工作車 キンバイ消防ホース
YAMATO ROTEL ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器
〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号
TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

に団員確保について若い人の意見を聞くこと、消防団は飲み会が多いことや、災害・訓練などの出勤が多い、仕事を犠牲にしての消防活動はできないなど、消防団に対する、あまり良くないイメージもあります。そのような中、今、自分たちが出来ることといえば、消防団が地元小学校の防災訓練等において、実際の火災、その他災害の現場に近い状態での活動を見てもらい、子供の父おさんが、地元のおじさんが、地域を守るために活動していることを正しく理解してもらい、将来を見据えた子供たちへのアプローチになると考えることが出来ました。研修初日の夜には、全国から集まった団員との酒を交えた意見交換会があり、初対面

の緊張感もとり、仕事や消防活動について語り合う機会をもて、研修が終わって数カ月が経ちますが、電話やメールで連絡を取り合える「消防仲間」が出来た事も良い経験となりました。二日目は研修のメインである課題討議があり、私の班は「消防団の訓練のあり方」をテーマに、各団員が地元消防団の訓練内容を発表し、みんなで問題点を検討しました。私は、所属する分団が町の中心地から離れており、火災発生時には常備消防より先に現場活動を行うことが多いため、現場でまず何をすべきか考えることを訓練に盛り込み、また、家屋だけではなく、山林等での訓練を実施していること、自主防災組織と連携して、地震の際の避難経

(4面へつづく)

地域に密着した活動を!



西予市消防団 班長 紀伊野 勇人

平成二十五年二月五日から七日の間、日本消防会館で開催された、第十三回消防団幹部候補中央特別研修に参加し、勉強させていただきました。

北は北海道から、南は沖縄まで、全国各地から、同じ志をもった一三八名の仲間と共に三日間の研修を受けました。

研修では、実際に東日本大震災で被災された、地元消防団の方による、地震の発生から現在に至るまでの悲痛な体験談や活動事例の紹介、防災・減災対策についての講義、また、総務省消防庁危機管理センターの視察を行いました。課題別討議では、参加者の事前アンケートにより班編成され、それぞれの課題の解決方法について討議が行われました。私の班では「若年層の団員確保対策について」討議を行いました。ほとんどの消防団において、若年層の団員確保には苦慮されており、「消防団にお酒」「自由時間がなくなる」「家族や職場の理解が得られない」等、それぞれの消防団で抱えている問題が報告され、これらの解決策について討議を行いました。主に、「飲食店で「退職報償金の額をあげては

んに伝えると共に今後の西予市消防団の充実と発展のために努めたいと思います。今後、このような研修の機会がありましたら是非参加させていただければと思います。

第13回消防団幹部候補 中央特別研修に参加して



しい」「様々な優遇措置を講じてほしい」などのメリットを求める意見が多数を締めていた一方で、「そういったメリットにより若年層を確保したり、団員数を維持するのは本来の消防団ではない。悪いイメージの払拭や、団員の確保は、自らが動くべき」「地域行事に積極的に参加し消防団をPRしてどうか」などの貴重な意見も出されてきました。

三日間という短い期間ではありましたが、日常の消防団活動では考えてもいなかったこと、思いもつかなかったことを、今回の研修で学ぶことが出来ました。

また、当市においても、去る三月十四日には、伊予灘地震で、震度五強という大きな揺れを体験しました。「南海トラフ地震」かと、肝を冷やしたものです。災害がおきた際、まずは自助、そして互助、公助ではありませんが、消防団には、地域に密着した活動が求められており、居住地の現状を把握し、知識・技術を身につけ、災害時に即、対応出来るようスキルアップを行い、地域の方に頼られる消防団を目指したいと思えます。

今回の貴重な経験を、地元消防団をはじめ、地域の皆さま

終わりに、研修の機会を与えていただきました愛媛県消防協会の皆様ならびに西予市消防本部の皆様に対し、書面より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

久万高原町消防団 団員 藤田 美寿穂

二月十二日から十四日まで、第十三回消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。恥ずかしながらこの歳になって初めての東京一人旅。緊張と不安で真冬のノ門のニッショーホールに向かいました。

研修初日は開講式と写真撮影のあと、日本消防協会・秋本会長の講話と消防団実務の講義を受け、終了後は別会場にて意見交換会。各都道府県から参集した九十余名の女性消防団員全員が参加し、名刺とともに情報を交換しながらの楽しい交流会となりました。

二日目は、東京消防庁・本所都民防災教育センターへ視察に行き、地震や暴風雨などを疑似体験させていただきました。視察ももちろん勉強になりましたが、センターまでのバス移動の際、隣合わせた東北の団員の方から東日本大震災の直後のことや現在の状況・懸念されていることなど

の三日間の予定で研修が始



松前町消防団 団員 山崎 はるみ

消防団幹部候補 中央特別研修を受けて

まいった。しかし、実際は天候不良の為、二日間で修了し

う意見が出ていました。研修最終日は、天気予報通り早朝から雪でした。早めに会場に入って研修の開始を待っていると、事務局からまさかの「残念ですが飛行機組の方はここで終了です。どうぞお帰り下さい」のお知らせが。グループ討議を続ける新幹線組に別れを告げ、松前町から参加の山崎さんとともに急いで羽田空港へ向かいました。雪の影響で既に欠航も出始めており、私たちもキャンセル待ちを繰り返して、空港ロビーで夜を明かすことも考えていた矢先、午後五時三〇分発の便に乗れるとの朗報!しかし、この頃には滑走路の状態は相当悪くなっており、ボーイング777の狭い座席に詰め込まれたまま、私たちはそれから三時間、ひたすら離陸のときを待つことになりました。

想定外の事態に遭遇した時、いかに冷静に状況を把握し、情報を収集し、迅速かつ的確に判断し行動するか。研修中止となった三日目でしたが、あれはあれで活きた研修となりました。貴重な経験の機会を与えていただきありがとうございます。

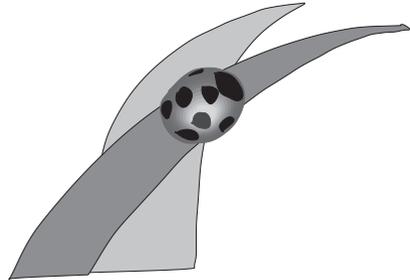
まず消防団員の一人であるということに改めて促された思いがした。今まで自分は「何となく消防団員」という意識しかなかったものが「権利と義務を忘れない」「消防団は常備消防と自主防災組織の連携役であり、地域防災の中核的存在」と知り自覚を持たなければならぬと思っ

た。この二日間は、私にとっても充実した研修であった。また、全国から様々なモチベーションを持った女性消防団員の方々と話をする事ができた。とても積極的でリーダーにふさわしい人、男性と同じ消防活動を希望している人、すでに男性と同じ活動をしている人、生き生きと消防団活動に参加している人など。ここでも自分はどうなのかと考えさせられ、とてもい

い刺激となった。そして、これからの消防団活動に生かすべきだと感じた。三月一四日に伊予灘沖での地震が起こった際に研修で仲良くなった他県の消防団員の方から早朝にも関わらず「大丈夫?」というメールが届いた。なんだか繋がっている感じが嬉しかった。この出逢いもまた大切にしたい。

Advertisement for Nippon Light (新日本ライト) featuring various fire equipment like pumps, extinguishers, and trucks. Includes contact information for agents in Nagaoka and Yamato.

た。この二日間は、私にとっても充実した研修であった。まず消防団員の一人であるということに改めて促された思いがした。今まで自分は「何となく消防団員」という意識しかなかったものが「権利と義務を忘れない」「消防団は常備消防と自主防災組織の連携役であり、地域防災の中核的存在」と知り自覚を持たなければならぬと思っ



愛媛県消防学校 初任教育訓練生入校式

平成二十六年年度消防職員初任教育訓練生の入校式が、四月三日(木)松山市勝岡町の愛媛県消防学校であり、県内の十三消防本部から今年度採用された消防職員六十三名(内女性二名)が入校しました。

入校式は、午前十時三十分から三階会議室において、教職員、入校生の各所属長及び来賓が見守る中、緊張した訓練生が、凛々しく制服に身をただし厳粛に行われました。

東野克己学校長が「南海トラフの大地震の発生が懸念され、消防機関に求められる役割が一層増大している。想像以上の厳しい訓練だが、団結心を養い、地域住民から信頼される消防士として自信を持って頑張ってください。」と式辞を述べられ、来賓の岡田清隆愛媛県民環境部長、芳野浩三愛媛県消防長、会津並びに寺坂末吉愛媛県消防協会長から「九月までの六ヶ月間、寮生活で厳しい訓練ですが、消防職員としての知識・技術を習得するために共に学び、訓練生全員が立派な消防士になれますことを、切に願うものであります。」と祝辞が送られた。



皆さん姿勢がいいですね!



東野学校長式辞

訓練生を代表して伊予消防等事務組合消防本部の原拓也消防士が「職責を自覚し、心身の鍛錬によって、立派な消防士になることを固く誓います。」と厳正な態度で宣誓した。

第28回愛媛県消防操法大会出場抽選会の結果

去る4月16日(水)に愛媛県消防学校にて「第28回愛媛県消防操法大会打合せ会」が開催され、大会の出場抽選会が行われました。結果は以下のとおりです。

| 地区 | 出場チーム順 | | ポンプ車の部 | | 小型ポンプの部 | |
|--------------------|--------|----|--------|----|---------|---|
| | A | B | A | B | A | B |
| 四国中央市 | 9 | 6 | 12 | | | |
| 新居浜市、西条市 | 11 | 4 | 11 | 7 | | |
| 今治市、越智郡(上島町) | 7 | 2 | 16 | 17 | | |
| 松山市、東温市 | 12 | 14 | 8 | 13 | | |
| 上浮穴郡(久万高原町) | 5 | | 1 | | | |
| 伊予市、伊予郡(松前町、砥部町) | 3 | | 3 | | | |
| 大洲市、喜多郡(内子町) | 10 | | 4 | 2 | | |
| 八幡浜市、西宇和郡(伊方町) | 13 | | 10 | 9 | | |
| 西予市 | 1 | | 14 | | | |
| 宇和島市、北宇和郡(松野町、鬼北町) | 15 | | 15 | | | |
| 南宇和郡(愛南町) | 8 | | 5 | | | |

なお、全国大会の開催は以下のとおりです。

第24回全国消防操法大会
日時：平成26年11月8日(土)
場所：東京臨海広域防災公園
出場：小型ポンプ車の部
出場順：13番
選手のみなさん、がんばってください!



平成二十六年年度 愛媛県消防協会監事監査

日時：平成26年4月22日(火)
場所：愛媛県消防協会
本協会の監事三名にご出席いただき、平成二十五年年度事業報告並びに決算報告を行いました。



事務局からの説明後、報告の詳細に関する質問や、今後の課題などご審議いただきました。この結果は、五月二日に開催される理事会、後日開催される定時評議員会にて報告する予定です。

事務局だより

各種共済制度説明会を実施しました

日時：平成26年4月12日(土)
場所：大洲市役所2階大ホール



中川一夫団長



各種共済制度の説明中です



入団者全員と幹部の方で記念撮影です

平成二十六年年度大洲市消防団入団式が開催されました。土曜日の夜から新団員の方が集まり、式典の後消防協会による各種共済制度説明会を行いました。これから皆さんと長い付き合いをさせていただきます。病気や事故、怪我に気を付けて活動に取り組んでいただけるよう一生懸命バックアップいたします!

安心!

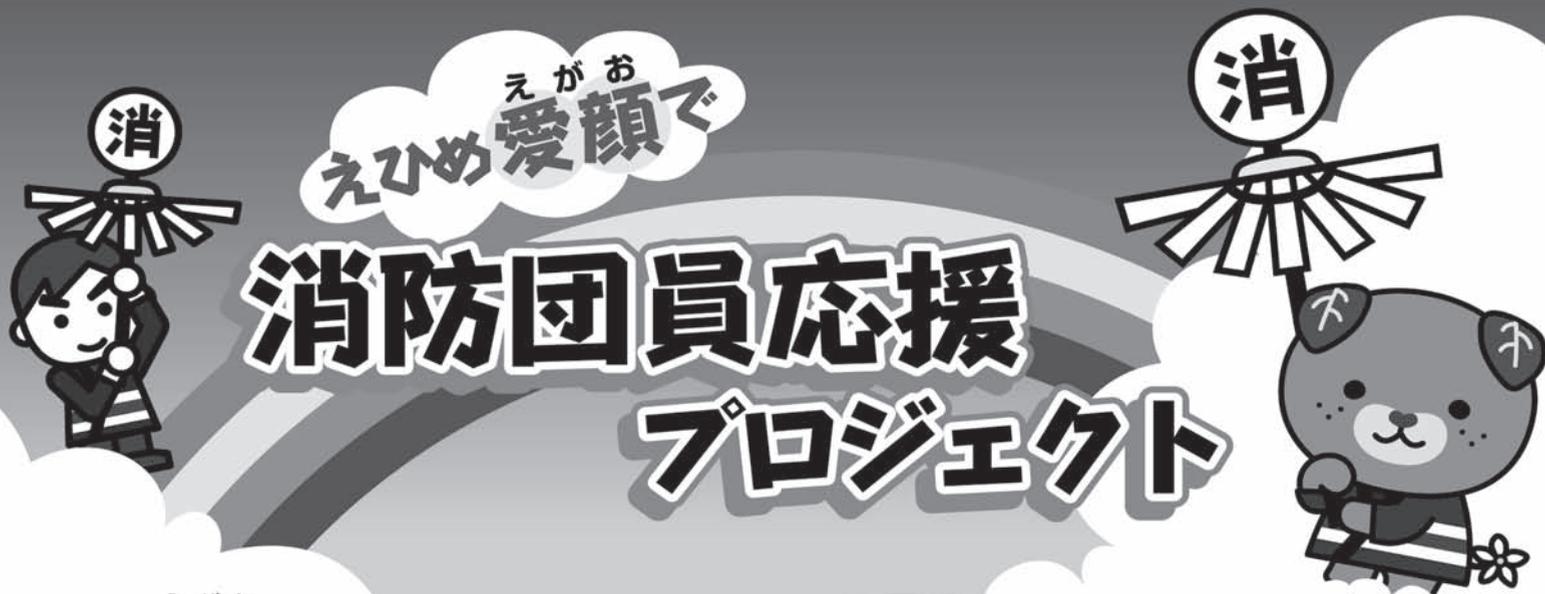
- 各種消防設備保守点検
- 24時間体制
ビル設備監視システム
- 火災通報装置工事
保守点検
- 各種消防設備設計・施工
- 各種消火器
簡易消火設備販売
- その他各種防災用品
非常食販売

ご相談・ご用命は...

(株) 四国消防

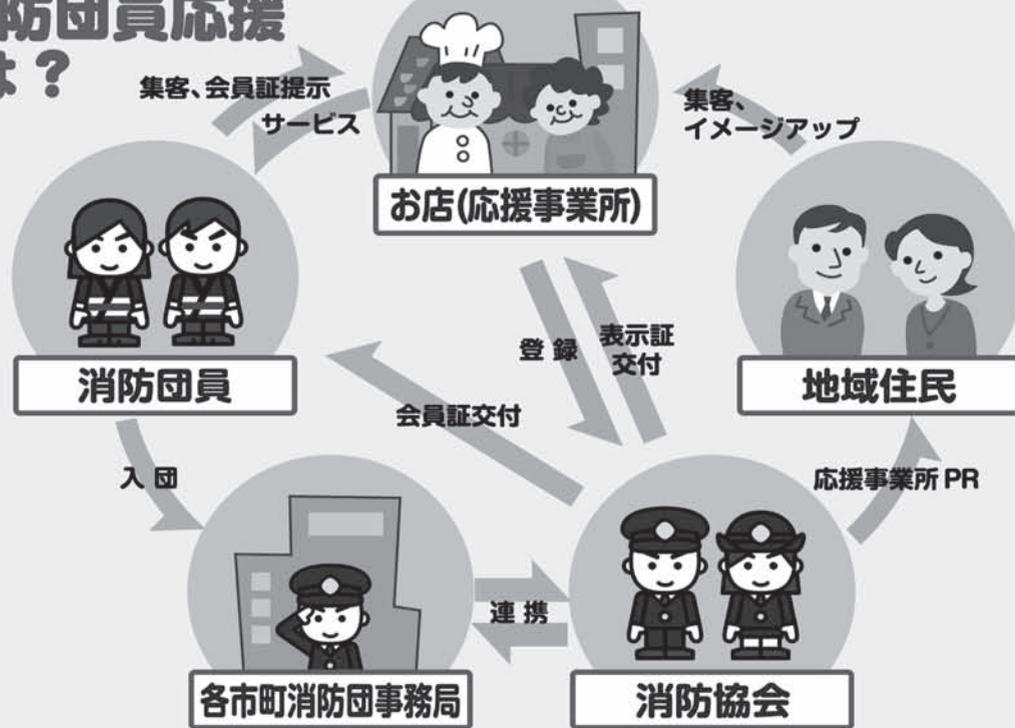
〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話(089)934-4800
FAX(089)934-5533

「NHKおはよう日本」番組内で消防団員応援プロジェクトが紹介されました！
詳しくはホームページをご覧ください！⇒ <http://www.ehime-syokyou119.jp>



えがお 「えひめ愛顔で消防団員応援プロジェクト」とは？

愛するふるさとのために日夜活動する消防団員に感謝の気持ちをこめて応援する事業です。



対象者
愛媛県内の各市町へ所属しているすべての消防団員。店舗によって団員が受けられるサービスは異なります。サービス内容は、愛媛県消防協会のホームページ <http://www.ehime-syokyou119.jp> で確認することができます。

登録いただいたお店には、愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」をアレンジした「公益財団法人愛媛県消防協会消防団員応援事業所表示証」を交付し、店内に掲出していただきます。これにより、地域の方々に「消防団」をアピールし、消防団の認知度を高めつつ、お店の皆様には社会貢献のイメージアップと顧客としての消防団員の集客率を高める効果が期待できます。多くのお店に応援事業所として登録いただき、まち全体で消防団を応援する体制を作り、かつお店の皆様や地域の活性化につなげ、「地域力を向上する」ことを目的としています。

みんなで消防団員を応援しよう！

参加店舗募集!

この事業を応援していただける事業所(店舗)は、愛媛県消防協会のホームページに掲載している登録申込書により登録申請をしてください。審査後、登録された事業所(店舗)には、愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」をイメージした「消防団員応援事業所表示証」を交付し、店頭やレジ前などの目につきやすいところに掲示していただきます。



この会員証は、表記の者が消防団員であることを証明します。
注意事項
1. 愛媛県消防協会消防団員応援事業所表示証が掲示してある事業所で会員証を提示してください。会員証を提示しないときは、優待措置は受けられません。
2. 会員証を他人に貸与したり譲渡することはできません。(他人に貸与、譲渡したときは、会員証の返還を求めることがあります。)
3. 消防団を退団したときは、会員証を所属消防団事務局まで速やかに返還してください。
※この会員証を取得された方は、お手数ですが公益財団法人愛媛県消防協会までご連絡ください。(TEL.089-921-8517)



お問い合わせ先
公益財団法人 愛媛県消防協会
〒790-0864 愛媛県松山市築山町 1-35
TEL.089(921)8517 FAX.089(921)8547

消防団員応援事業所登録のお申込みは…
愛媛県消防協会ホームページ
<http://www.ehime-syokyou119.jp>
「えひめ愛顔で消防団員応援プロジェクト」をクリックして申込書をダウンロードしてください。